



共に考え行動する「協働」によるまちづくり  
快適で安心・安全な「日本一住みやすい」まちづくり  
地域資源を生かした活力あるまちづくり

# 平成31年度 市政運営方針





水・みどり・人がきらめく

安心のまち 活力のまち 土浦



# 水・みどり・人がきらめく安心のまち 活力のまち 土浦

共に考え行動する「協働」によるまちづくり  
快適で安心・安全な「日本一住みやすい」まちづくり  
地域資源を生かした活力あるまちづくり

3月5日(火)、平成31年第1回市議会定例会が開かれ、冒頭で中川市長が平成31年度の「市政運営方針」に関する所信表明を行いました。本市のまちづくりの道しるべともいえる市政運営方針の内容についてお知らせします。

天地、内外ともに平和を願って名付けられた平成の時代も間もなく幕を閉じようとしております。

平成の世を振り返ってみますと、甚大な被害をもたらした阪神・淡路大震災、東日本大震災を始めとする大規模地震や集中豪雨、猛暑、豪雪、大型台風等の影響による風水害、土砂災害など想定外の自然災害に見舞われた時代でありました。

一方、経済にあつては、バブル崩壊とその後の「失われた20年」ともいわれる長い景気低迷期やリーマンショックの影響を受けた未曾有の経済危機を経験したものの、名目国内総生産(GDP)は、30年で150兆円増え、この1月には、景気拡大期がいざなぎ景気を抜き、戦後最長を更新しました。

しかしながら、拡大の基調は、緩やかで実感に乏しく、平成の時代と共に導入された消費税は、本年10月に10%に引き上げられることから、個人消費の低迷も予想される上、米中貿易戦争やイギリスのEUからの離脱など、海外経済の不確実性などが懸念されております。

また、国と地方の長期債務残高は1100兆円を超えており、我が国が目指している、経済再生と財政健全化を同時に実現することは、容易なことではありません。

昨日より今日、今日より明日、一步一步を積み重ねる 3つのリーディングプロジェクト

## 「つちうら ステップ・ワン プロジェクト」

市民と行政が一体となり、堅実な土浦を築く  
「みんなで支えあう つちうら プロジェクト」

本市では、早くから協働のまちづくりを推進し、地域のふれあい活動や市民主体の地域づくりなど一定の成果を挙げてきました。しかしながら、本格的な高齢化と人口減少社会の到来により、地域コミュニティにおける連帯意識が希薄化するなど、地域の活力低下が懸念されております。

このようなことから、一人でも多くの市民の皆様が協働の輪を広げ、市民が主役のまちづくりをより一層推進するとともに、多様

化・高度化する市民ニーズに的確に対応するため、これまでよりも一歩進んだ協働に全庁的に取り組みます。

また、「改革と協働で創る未来の土浦」を基本理念とした第6次行財政改革大綱に基づき、将来にわたり堅実で持続可能な行財政基盤を確立するため、行財政改革のもう一段の取組を進め、堅実で持続可能な行財政運営の実現を目指します。

このようなことから、国におきましては、今後の経済財政運営に当たって、消費税率引上げによる需要変動を乗り越えるため、「経済再生なくして財政健全化なし」を基本として、あらゆる施策を総動員するとともに、全ての世代が活躍できる全世代型社会保障への転換を図り、少子高齢化という最大の壁に立ち向かっていくこととしております。

本市といたしましても、こうした国際情勢や国の動向を的確に捉えながら、誰もが安心・安全で、生き生きと希望を持って暮らせるまちづくりを実現するため、第8次総合計画に掲げた各施策を着実に推進し、将来を見据えた市政を展開する必要があります。

私は、市長就任以来、終始一貫して「市民と協働のまちづくり」と「行財政改革の推進」を二本の柱として市政運営に取り組み、市民と行政の新たな関係や健全でスリムな行財政運営体制を構築することで、強固で持続可能な市民生活を支える基盤づくりを努め、その礎を基に大型事業を含めた数多くの施策にまい進してまいりました。

今後は、市民の皆様との協働をより深化・拡大させ、これまで整備した施設を積極的に活用していただけるようソフト面の充実を図り、皆様と一緒に土浦ならではの個性と魅力を高めながら、活気にあふれたにぎわいのあるまちを創出してまいります。

また、これからも前例にとらわれないことなく、行財政改革、職員の意識改革及び組織改革を実行し、行財政運営の体質改善と強化に取り組み、持続可能な行財政基盤の確立を目指すとともに、市民・団体・事業者と行政がそれぞれの役割や主体性を尊重し、共にまちづくりを進める意識を醸成してまいります。

新年度は、2年目を迎える第8次総合計画の進捗を図る上で大事な年となります。このようなことから、引き続き、まちの将来像である「水・みどり・人がきらめく 安心のまち 活力のまち 土浦」の早期実現に向けて、「昨日より今日、今日より明日、一步一步積み重ねる つちうらステッ・ワン プロジェクト」に位置付けた、分野横断的な3つのリーディングプロジェクトに基づき、戦略的な施策・事業の展開を図ります。

**地域固有の資源に磨きをかけて、輝きを放たせる  
「まちがにぎわう つちうら プロジェクト」**

名実ともに日本一の土浦全国花火競技大会や国内有数の市民マラソン大会であるかすみがうらマラソン兼国際盲人マラソン、オーブンから1年間で合わせて65万人が訪れた図書館や市民ギャラリーなど、本市には、優れたポテンシャルを持った地域資源が数多く存在します。

これらを連携させることで相乗効果を高めるとともに、こうした土浦の魅力を発信することで、ヒトやモノの交流を促進させ、まちの活性化を図ります。

また、総延長約180<sup>キロ</sup>を誇る「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の開通や、サイクリング拠点施設「りんりんスクエア土浦」の開設以

**知恵と政策を積み重ねて、着実に一歩前進する  
「未来へつなぐ つちうら プロジェクト」**

まち・ひと・しごと創生総合戦略にもありますように、人口減少を克服し、本市の継続的な発展を図っていくためには、長期的に人口構造の若返りを進めていくことが必要です。

このようなことから、理想と現実のギャップを解消し、未来へ希望をつなげていくために、結婚から妊娠、出産、育児までの切れ目ない支援や、子ども・若者の健全育成支援の充実を図り、安心して結婚し、子どもを産み育てることができる環境整備を推進します。

特に、処遇改善による保育士の働きやすい環境整備と質の高い安定的な保育の提供に努めるとともに、国の幼児教育・保育無償化措

降、サイクリストを始めとする多くの来街者が訪れるようになりました。

この機を逃さず、りんりんロードの結節点及び都心からのアクセスの良さを活かして新たな誘客を図るとともに、土浦港周辺に市民やサイクリストを始めとする観光客の交流拠点「りんりんポート土浦」をオープンさせ、市街地や霞ヶ浦への回遊性を高め、地域の活性化につなげます。

今年、45年振りに本県で国民体育大会「いき茨城ゆめ国体」が開催されます。全国から訪れる方を心からおもてなしし、市民の総力を結集させた、土浦らしさの光る大会となるよう、受入れ体制の充実を図ります。

置にも的確に対応し、本市の子育て環境の更なる充実を図ります。

子どもたちの健全育成につきましては、他自治体に先駆け、普通教室へのエアコン設置、電子黒板やタブレット端末の整備など、未来を担う子どもたちのために教育環境の整備に積極的に取り組んでまいりました。

新年度も、充実したICT機器を有効活用するとともに、昨年から市内全域で実施している小中一貫教育の進展を図り、児童生徒の発達段階を考慮しながら、豊かな心を育む教育を推進し、社会環境の変化の中でも個性を發揮できるように子どもを育成します。



# 平成31年度の主な施策の概要

## ① 市民が主役の安心・安全なまちづくり

本市では、市民の誰もが安心して暮らせるまちを実現するため、東日本大震災時の教訓を基に自然災害への対応力を向上させるとともに、犯罪や交通事故を抑止し日常生活における安全性を高めるなど、災害や犯罪に強いまちづくりを進めています。引き続き、県内随一の組織率を誇る自主防犯組織を背景に、地域やボランティア、NPOなどの各種団体、事業所などとの連携協働により、市民が主役の安心・安全なまちづくりの対策を推進します。

- 防犯対策事業
- 荒川沖駅周辺自転車等放置禁止区域指定事業
- 地域防災対策整備事業
- 橋梁耐震対策事業
- 橋梁長寿命化修繕事業
- 都市下水路整備事業
- 小規模排水路整備事業
- 消防団車庫整備事業
- 公共下水道雨水排水路整備事業
- 神立駅西口自転車駐車場整備事業

## ③ 活力とにぎわいのあるまちづくり

本市には、充実した都市機能と歴史に根差した商業をはじめ、創造性と技術力のある工業のほか、自然・歴史・文化・人を活かした観光、日本一の生産を誇るレンコンや花きなど特色ある農業、霞ヶ浦における漁業など多様な産業があります。これらの豊富な地域資源を活かし、活力とにぎわいのあるまちづくりを推進します。

- 第88回土浦全国花火競技大会開催事業
- 水郷筑波サイクリング環境整備事業
- まちなか定住促進支援事業
- 中心市街地開業支援事業
- 土浦港周辺広域交流拠点民間事業者誘導事業
- 土浦ブランドアッププロジェクト推進事業
- わくわく茨城生活実現事業(移住・新規就業者支援事業)

## ② 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり

本市では、「心の豊かさたくましましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさあふれるまちづくり」を理念として教育文化行政を進めています。誰もが心身ともに健やかな生活を送るため、地域社会とのつながりの中で学び、スポーツや文化活動に参加できる、明るさにあふれた、心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくりを推進します。

- 就学前教育推進事業
- 教育相談室移転事業
- 小学校適正配置推進事業
- 小学校・中学校施設非構造部耐震化事業
- 学校給食センター再整備事業
- 市民会館耐震化及び大規模改造事業
- 重要資料公開推進事業(博物館)
- 特別展・企画展事業(上高津貝塚ふるさと歴史の広場)
- 美術品公開推進事業
- 図書館管理運営事業
- J・COM スタジアム土浦整備事業
- 茨城国体開催事業

## ④ ふれあいとあたたかいまちづくり

本市では、中学校区ごとのふれあいネットワークを軸に地域福祉を推進しています。地域社会の誰もが不安なく快適で安心・安全に暮らすことができ、市民一人ひとりが地域福祉の担い手となる、ふれあいとあたたかいまちづくりを推進します。

- 産婦健康診査事業
- 産後ケア事業
- 認知症施策推進事業
- 地域包括支援センター体制整備事業
- 公立保育所民間活力導入事業
- 私立保育園整備事業
- 民間保育所等運営費補助事業
- 結婚支援事業
- 結婚新生活支援事業
- プレミアム付商品券事業

### ⑤ 環境を重視するまちづくり

本市は、霞ヶ浦や河川などの水辺により、特徴のある景観が形成されています。また、里山や筑波山麓の豊かな山林は、生態系を支える重要な役割を果たすとともに、本市の自然環境を特徴づける貴重な資源です。その豊かな自然環境をまちづくりの一つとして位置付け、人と自然が共生し、快適に暮らせるまちを目指し、環境を重視するまちづくりを推進します。

- 汚泥再生処理センター整備事業
- PCB廃棄物運搬処分事業
- 公共下水道(汚水)整備事業
- 配水管施設整備事業
- 老朽管更新事業

### これらの施策を実現するための基本姿勢

#### 「地域力」と「市役所力」が一体となった協働のまちづくり

本市では、これまでの市民との協働によるまちづくりの成果により、市民の間に「協働」の意識が定着しつつあり、各般にわたりその広がりを見せてきています。「自分たちのまちは、自分たちで創る」という意識の下に、まちの主人公である市民、団体、事業者と行政が相互にパートナーシップを確立する、「地域力」と「市役所力」が一体となった協働のまちづくりを推進します。

- シティプロモーション推進事業
- 地域公民館整備事業
- 協働のまちづくりファンド(ソフト)事業

### ⑥ 快適でゆとりのあるまちづくり

本市では、県内でも有数の都市集積を持ちながら、霞ヶ浦や筑波山麓などの豊かな自然環境を有しています。こうした地域資源を活かしながら、市街地の生活拠点等の充実とネットワーク化を進めることで、快適でゆとりのある都市空間の構築を目指します。

- 道路新設改良事業
- 地域公共交通確保維持改善事業
- 亀城モール整備事業
- 神立駅西口地区土地区画整理事業
- 常名虫掛線街路事業
- 神立停車場線街路事業
- 田村沖宿線延伸道路整備事業
- 荒川沖木田余線(Ⅰ期)整備事業

#### 行財政改革の推進と市民サービスの向上

本市では、持続可能な行財政基盤の確立を目指し、行財政改革を進めています。少子・高齢社会や人口減少社会の進展に対応しつつ、市民一人ひとりの夢と希望を実現していくための継続的かつ自立的な財政基盤の確立を目指し、行財政改革の推進と市民サービスの向上を推進します。

- ふるさと土浦応援寄付事業
- 第6次行財政改革大綱推進事業
- ネーミングライツ事業